

地理歴史「日本史A」（選択科目）	単位数	2単位
	学科・学年	工業科・2学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	1 近現代中心の我が国の歴史的展開と我が国の文化と伝統の特色について認識を深める。 2 我が国に関連した諸問題に対し歴史的思考力をもとに自分の意見を主張できるようにする。
使用教科書	高等学校 日本史A 改訂版 ― 人・くらし・未来 ― （第一学習社）

2 学習計画及び評価方法等

（1）学習計画等

学期	学 習 内 容	月	学 習 の ね ら い	考 査 範 囲
1 学期	近代への胎動 明治維新 近代国家の確立 対外関係の変化と政党政治	4	・幕藩体制動揺期の内外情勢について理解する。	中間
		5	・近代日本の形成過程を国際社会と関連づけて理解する。	
		6	・自由民権運動を経て立憲制確立までの経緯を理解する。	期末
		7	・日清戦争前後の国際変化と日本外交推移を理解する。	
2 学期	近代産業の発展と社会運動 第一次世界大戦と日本 第二次世界大戦と日本 戦後の政治と対外関係	8	・日露戦争後の海外進出と資本主義経済発展を理解する。	中間
		9	・デモクラシー高揚と中間層・知識人層拡大を理解する。	
		10	・恐慌による経済危機と我が国の内外情勢を理解する。	
		11	・戦争と国際関係悪化による日本の歩みを理解する。	期末
		12	・大戦後の新しい外交関係確立への歩みを理解する。	
3 学期	経済の発展と国民生活の変化	1	・戦後の経済成長と価値観の変化について理解する。	学年末
		2	・冷戦終結と現代日本の課題・役割について理解する。	
		3	・経済発展と生活の変化について理解する。	

（2）評価の観点及び内容

関心・意欲・態度	・我が国の歴史や生活様式の変遷に対する関心と問題意識を高め、意欲的に学習している。
思考・判断・表現	・我が国の歴史の変遷を、世界史的視野に立って総合的に考察し、その過程や結果を適切に表現しようとしている。
資料活用の技能	・近現代を中心とする諸史料を活用して、過去の史実を的確に説明できる能力を有している。
知識・理解	・日本史における基礎・基本の知識を有し、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら、その歴史への理解力がある。
・成績評価は、定期考査を基本として、提出物、発表、授業態度等により総合的に評価する。 ・学年末の成績は、1～3学期の評価をもとに総合的に判断して評価する。	

3 確かな学力を身に付けるためのアドバイス

・日頃の授業を大切に、教師の説明や他の生徒の発表などを、興味を持って聞くようにしてください。 ・教科書の資料や人物説明などにもよく目を通すようにして、歴史に関する本やテレビ番組などを積極的に読んだり見たりするようにして下さい。 ・授業に対する予習復習をしっかりと行って下さい。 ・授業で出される課題や小テストなどに積極的に取り組み、知識理解を深めて下さい。
